

第4回 公共交通を考えるワークショップ

アンケート調査結果（速報版）

【草花折立下区域】

草花折立下区域においては、平成30年12月14日～12月25日の期間において、全162世帯を対象にアンケート調査を実施しました。このアンケート調査結果（速報版）では、平成31年1月7日までに回収した調査票を対象に集計した結果をお示ししています。

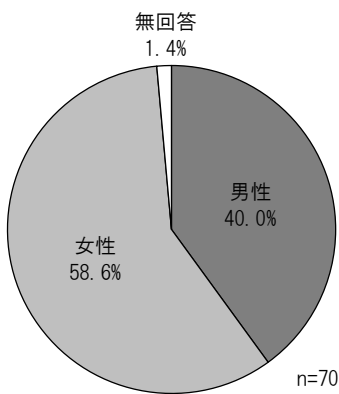
自由意見を含めた最終的な結果については、今後市ホームページにて公表する予定です。

配布数：162 回収数：70 回収率：43.2%（1月7日現在）

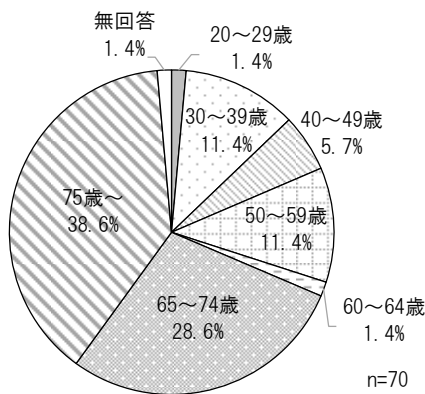
※ 端数処理により、内訳の計と合計が一致しない場合があります。

回答者属性

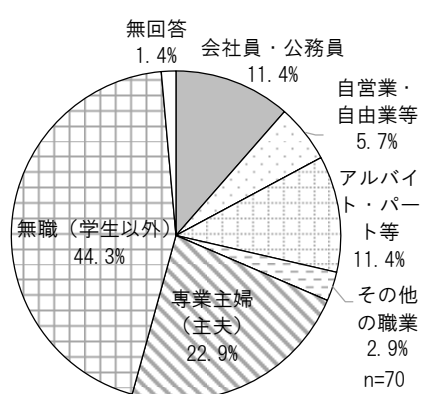
問1 性別



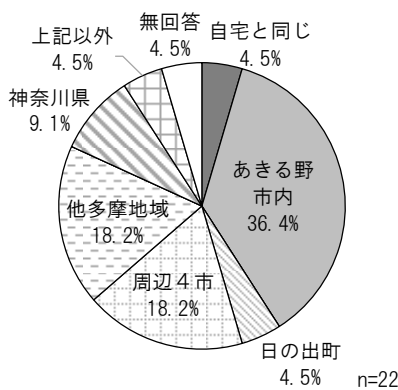
問2 年齢



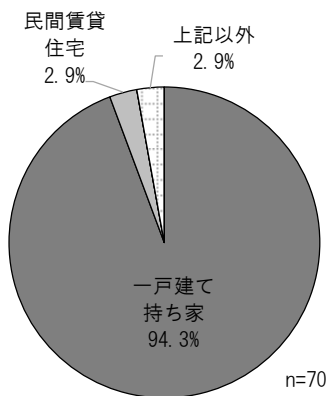
問3 職業



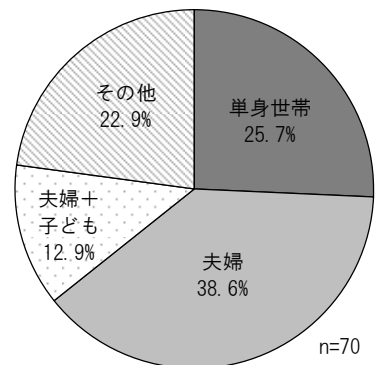
問3-1 通勤・通学場所



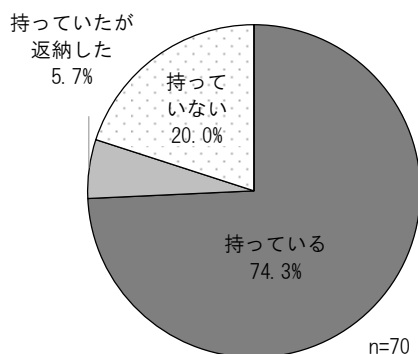
問4 住宅の種類



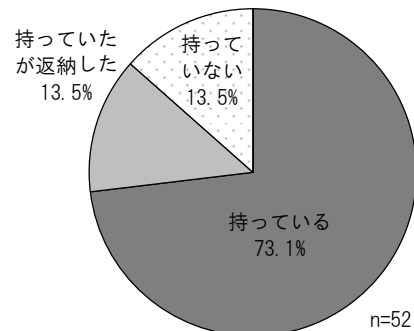
問5 世帯構成



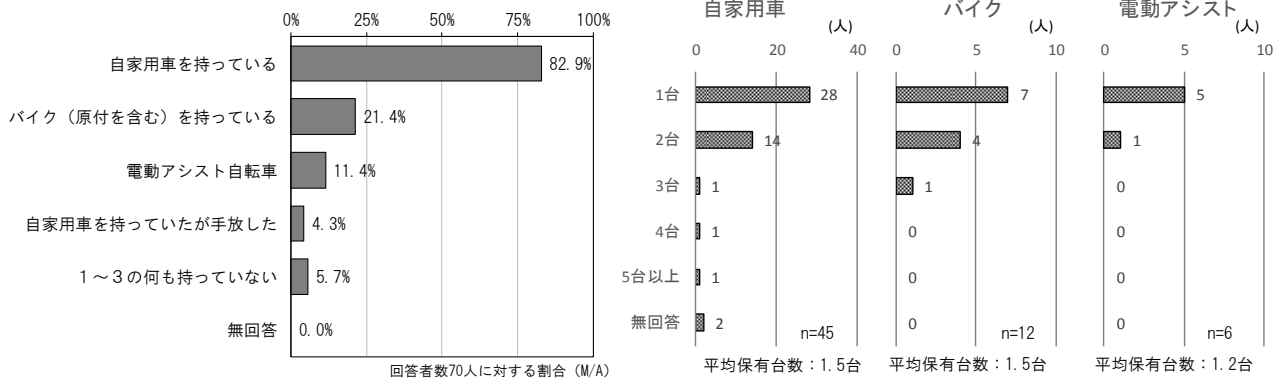
問6 回答者ご本人の運転免許保有有無



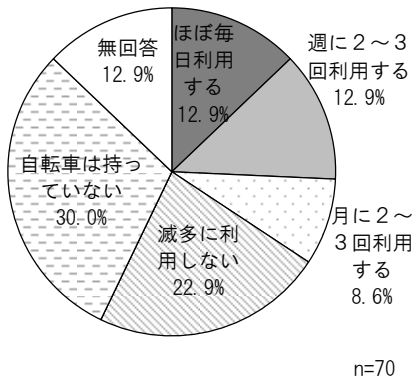
問7 同居されているご家族の運転免許保有有無



### 問8 自家用車等保有状況



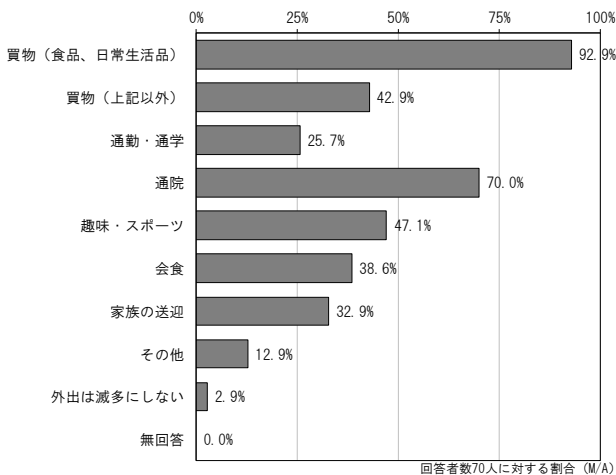
### 問9 自転車の利用状況



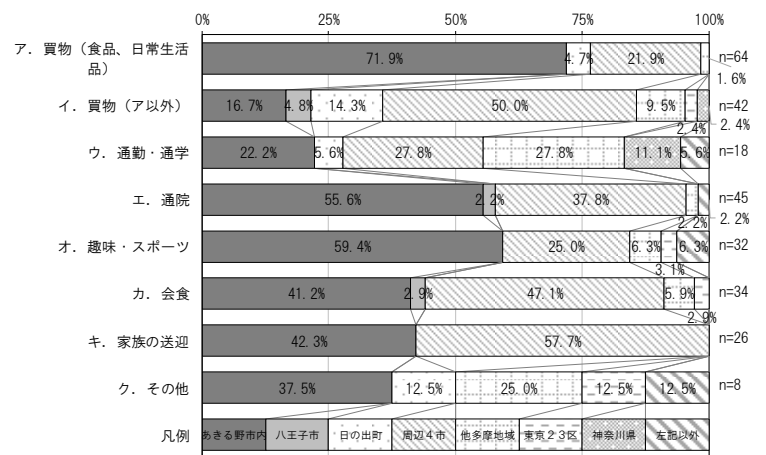
### 日常の外出について

- ・ 外出目的では「買物（食品、日用品）」が92.9%で最も多く、次いで「通院」70.0%が多い。
- ・ 外出の目的地では、「買物（食品、日用品）」の場合はあきる野市内が71.9%を占めるが、「通院」の場合、市内は55.6%であり、周辺4市（昭島市・福生市・羽村市・青梅市）が37.8%みられる。
- ・ 上記以外の目的でも、概ねあきる野市内が1位又は2位であるが、「買物（ア以外）」や「通勤・通学」では、いずれも周辺4市の占める割合が最も高い。
- ・ いずれの外出目的においても、主たる交通手段は「自家用車（自分で運転）」である。
- ・ 「買物（食品、日用品）」については、8割以上の人々が週2～3日かそれ以上の頻度で外出している。

### 問10 普段外出する目的

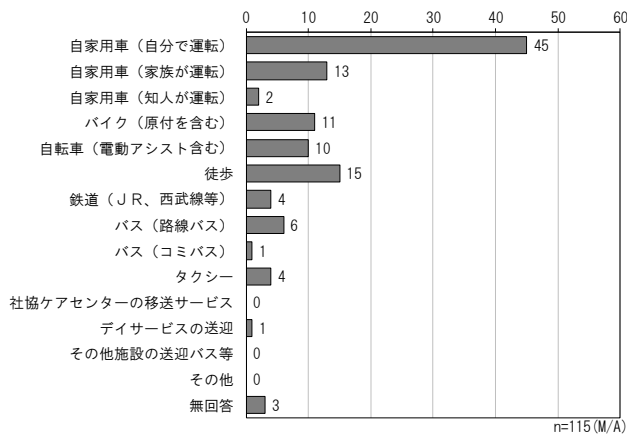


### 問10-1A 外出の目的地

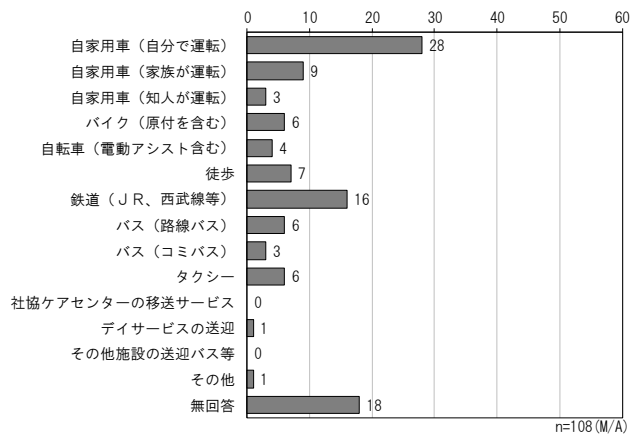


# 問 10-B 外出時の利用交通手段

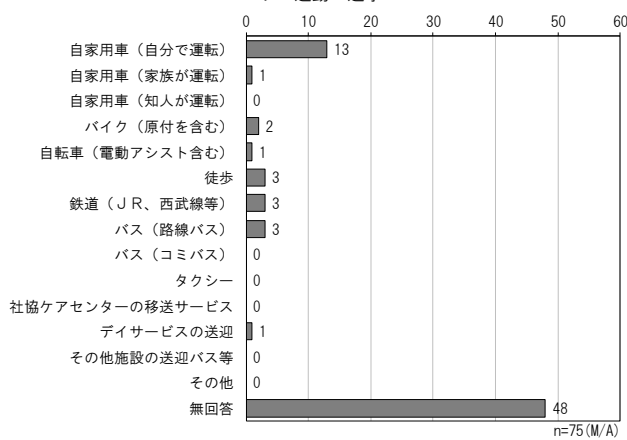
ア. 買物（食品、日常生活品）



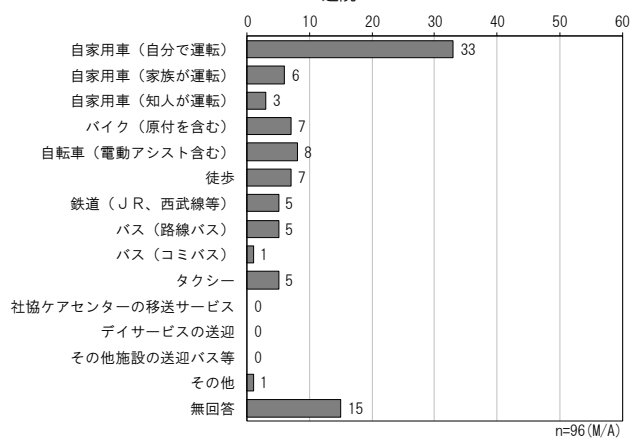
イ. 買物（ア以外）



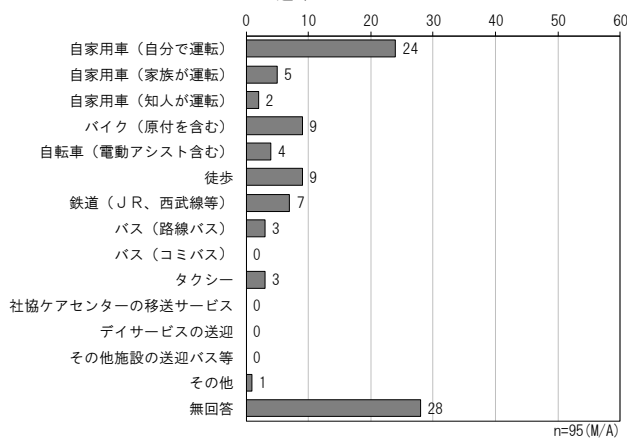
ウ. 通勤・通学



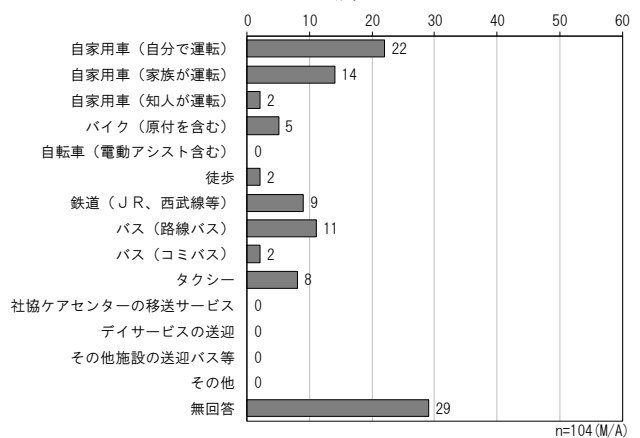
エ. 通院



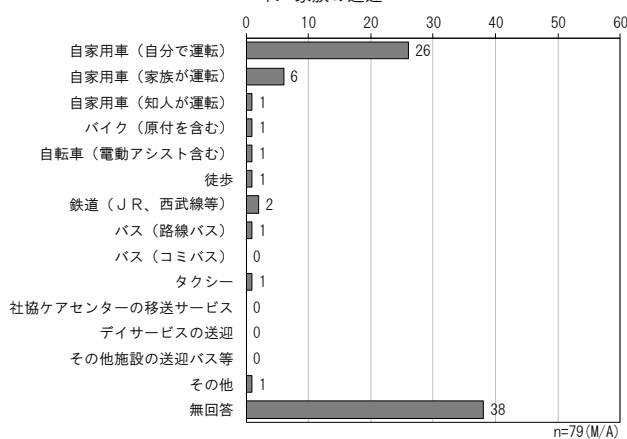
オ. 趣味・スポーツ



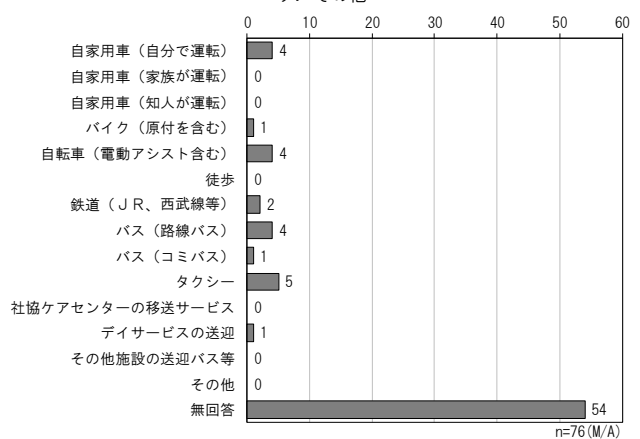
カ. 会食



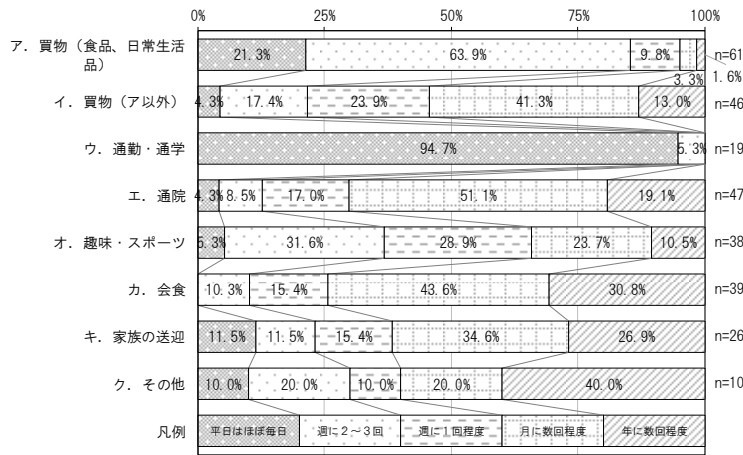
キ. 家族の送迎



ク. その他



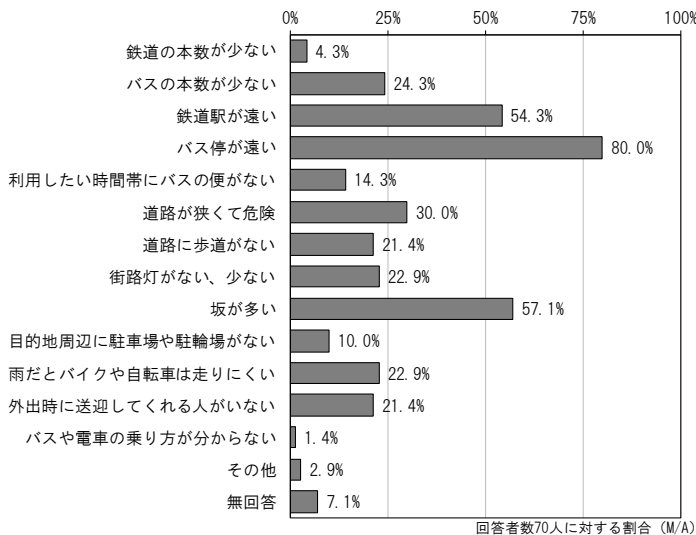
問10-C 外出頻度



普段交通でお困りのことについて

問11 交通に関して困っていること

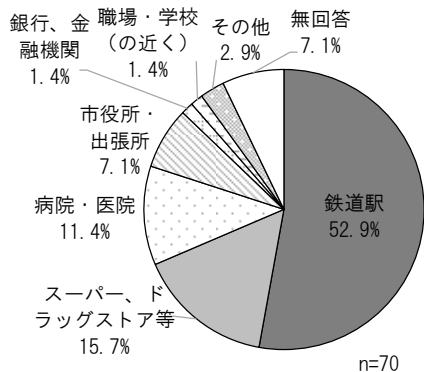
・「バス停が遠い」が80.0%で最も指摘率が高く、次いで「坂が多い」57.1%、「鉄道駅が遠い」54.3%の3つが指摘率で50%を超える。  
 ・上位2つは第1回ワークショップのグループワーク結果と同じ傾向である。



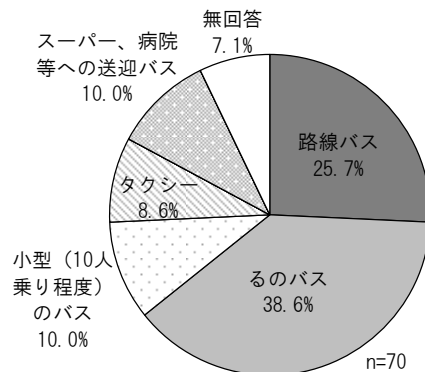
公共交通に対するご期待・ご要望

・公共交通で行きたいところは「鉄道駅」が52.9%で半数を超え、その際の交通としては「るのバス」が38.6%で最多となっている。

問12 公共交通で行きたいところ

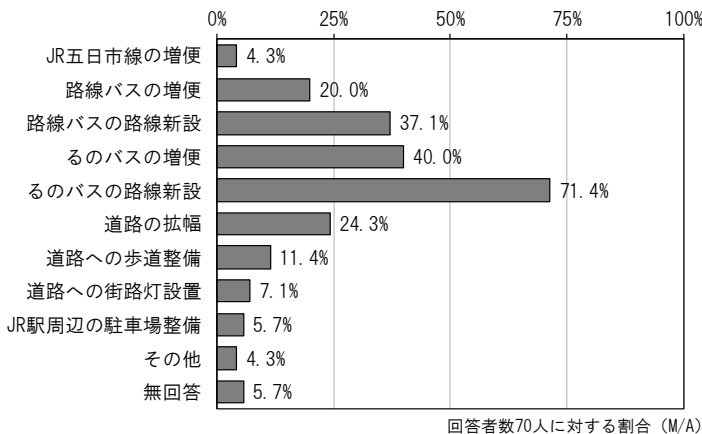


問13 問12の目的地へ行く交通



問 14 求められる交通整備

・「るのバスの路線新設」が71.4%で最も指摘率が高く、次いで「るのバスの増便」40.0%、「路線バスの路線新設」37.1%であり、指摘率が高い交通整備は、いずれもバス関連となっている。



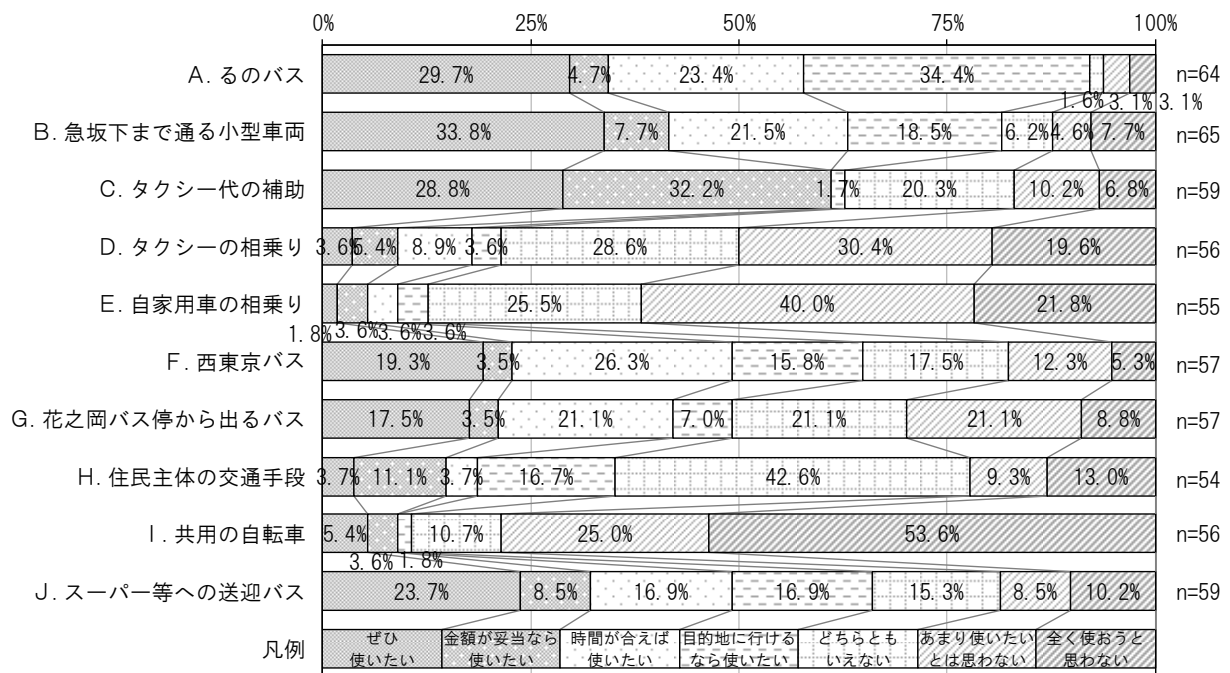
回答者数70人に対する割合 (M/A)

ワークショップで出た公共交通の方向性に対するご意見

問 15 各公共交通サービス候補に対する利用意向

・「ぜひ使いたい」「金額が妥当なら使いたい」「時間が合えば使いたい」「目的地に行けるなら使いたい」を合わせて、「使いたい」とする割合が60%を超えたのは、「A. るのバス」92.9%、「B. 急坂下まで通る小型車両」81.5%、「J. スーパー等への送迎バス」66.1%、「F. 西東京バス」64.9%、「C. タクシー代の補助」62.7%の5つである。

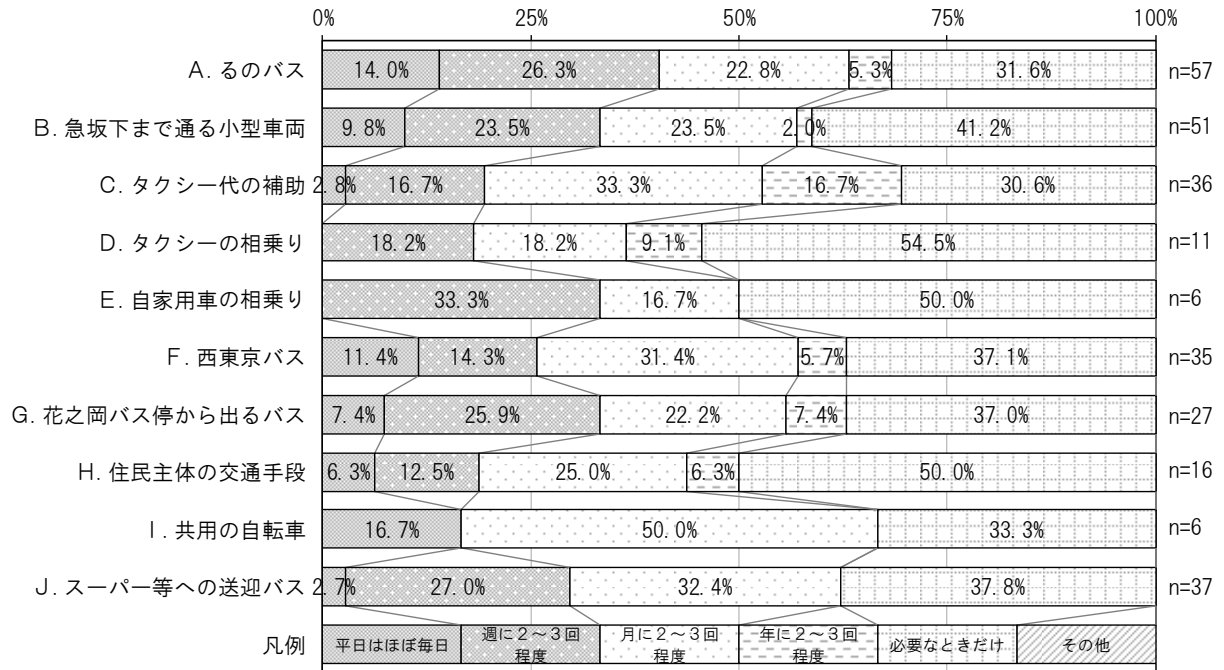
・これらのうち、「ぜひ使いたい」とする割合が一番高いのは、「B. 急坂下まで通る小型車両」の33.8%である。



凡例

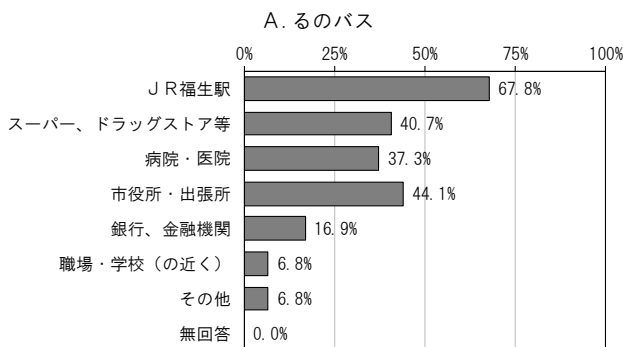
問 15-1 各公共交通サービス候補に対する利用頻度

・問 15 で利用意向が高いサービスのうち、利用頻度についても「週2～3回」以上利用したい人の割合が20%以上みられるのは、「A. るのバス」40.4%、「B. 急坂下まで通る小型車両」33.3%、「J. スーパー等への送迎バス」29.7%、「F. 西東京バス」25.7%の4つであり、「C. タクシー代の補助」については19.4%と、利用したい頻度がやや低くなっている。

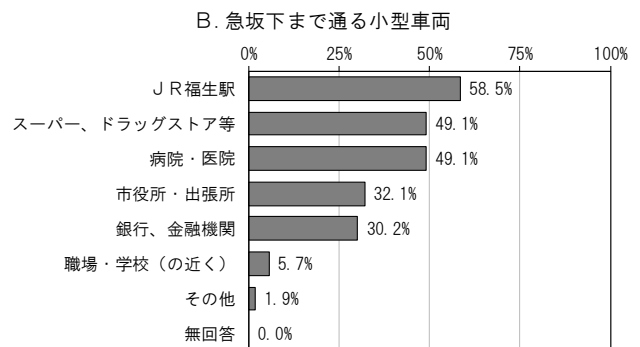


問 15-2 各公共交通サービス候補を使って行きたいところ

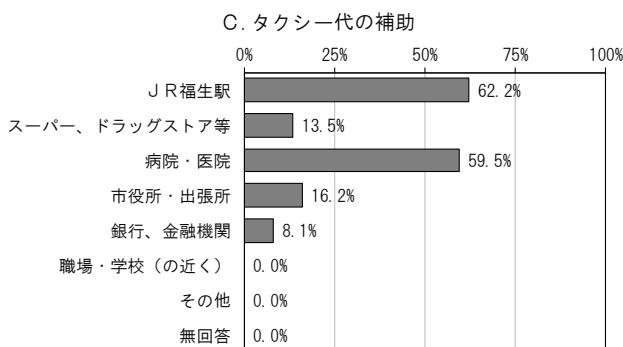
・問 15 で利用意向が高いサービスについてみると、「J. スーパー等への送迎バス」以外はいずれも「JR福生駅」が最多となっており、とくに「F. 西東京バス」では70%を超えている。  
 ・「B. 急坂下まで通る小型車両」「C. タクシー代の補助」では、「JR福生駅」に次いで「病院・医院」とする回答が多い。



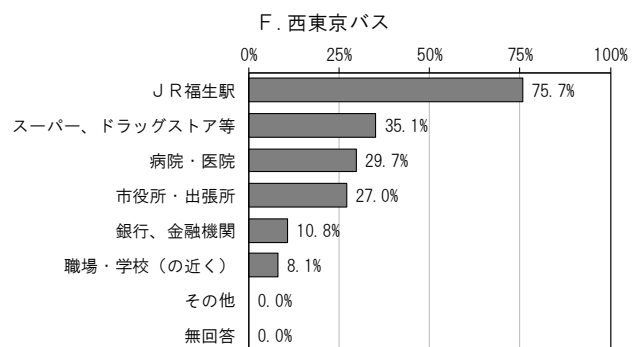
問15で1～4を回答した59人に対する割合 (M/A)



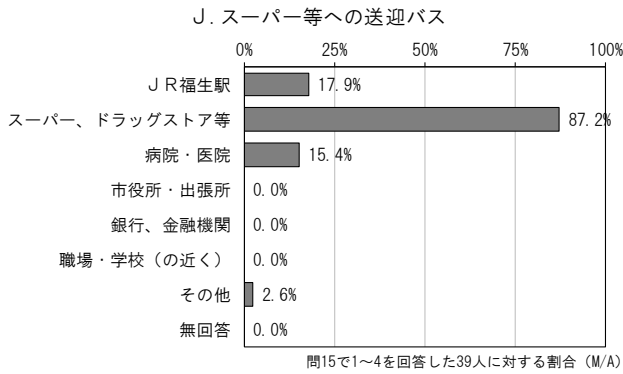
問15で1～4を回答した53人に対する割合 (M/A)



問15で1～4を回答した37人に対する割合 (M/A)



問15で1～4を回答した37人に対する割合 (M/A)

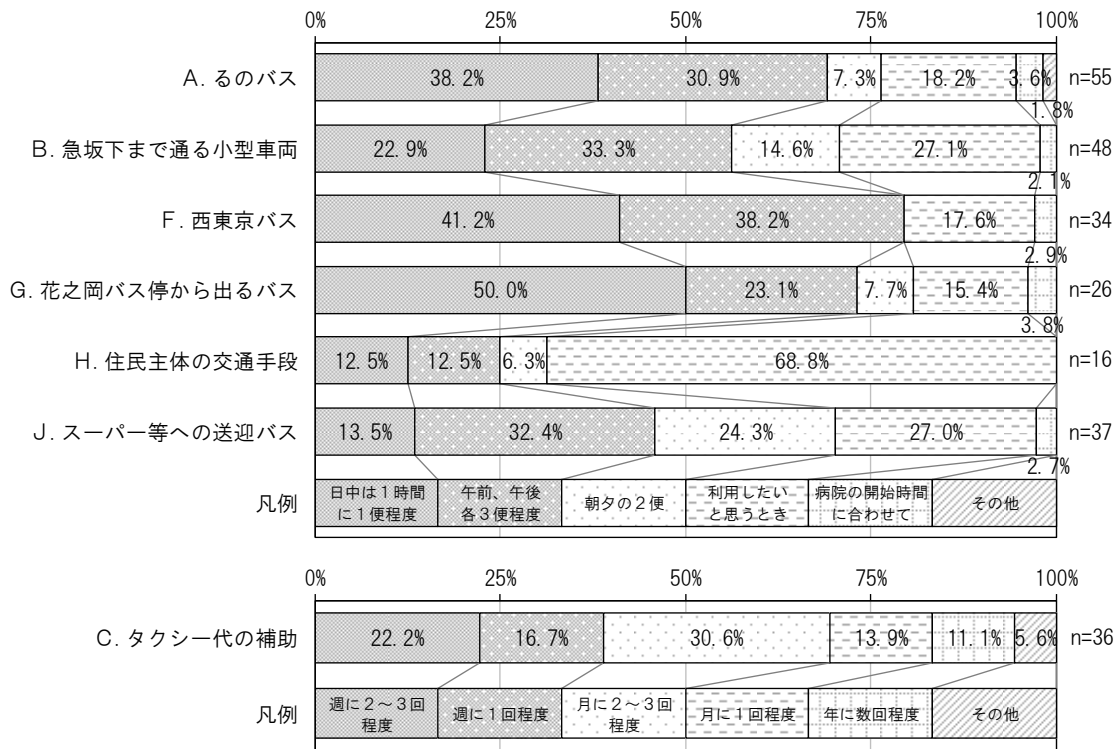


問 15-3 各公共交通サービス候補に求める運行頻度

・問 15 で利用意向が高いサービスについてみると、「F. 西東京バス」では 41.2%が「日中は1時間に1便程度」としている。また、「A. るのバス」についても「日中は1時間に1便程度」を求める意見が 38.2%で最も多い。

・「B. 急坂下まで通る小型車両」については、「午前、午後各3便程度」が 33.3%で最も多い。

・「C. タクシー代の補助」については他と選択肢が異なるため比較はできないが、「月に2~3回程度」が 30.6%で最も多い。



問 15-4 各公共交通サービス候補の料金設定

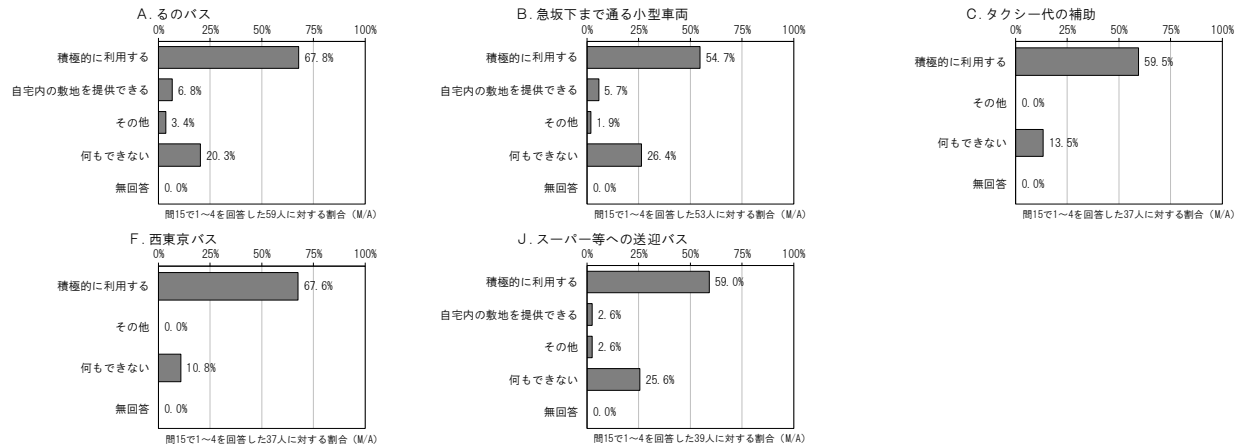
・各公共交通サービス候補の料金設定について平均を算出すると、「A. るのバス」146 円、「B. 急坂下まで通る小型車両」203 円、「C. タクシー代の補助」471 円、「J. スーパー等への送迎バス」157 円などとなった。

単位：円

公共交通サービスの候補	ぜひ使いたい	金額が妥当	条件付きに使用したい時間	行くにき行きたいところ	全希望者
A. るのバス	126	150	162	153	146
B. 急坂下まで通る小型車両	265	125	163	157	203
C. タクシー代の補助	500	473	0	100	471
D. タクシーの相乗り	375	0	325	300	336
E. 自家用車の相乗り	500	0	300	300	367
H. 住民主体の交通手段	500	233	250	240	286
I. 共用の自転車	50	0	0	0	50
J. スーパー等への送迎バス	138	167	183	150	157

問 15-5 各公共交通サービス候補に対する支援

・問 15 で利用意向が高いサービスについてみると、いずれのサービスについても、「積極的に利用する」という人は 50%を超えている。  
 ・「A. るのバス」「B. 急坂下まで通る小型車両」については、複数の方から「自宅の敷地を提供できる」という回答があった。



問 15-6 各公共交通サービス候補を利用しない理由

・問 15 で利用意向が高いサービスについてみると、「A. るのバス」「B. 急坂下まで通る小型車両」「F. 西東京バス」「J. スーパー等への送迎バス」についてはいずれも「自家用車で十分だから」の割合が最も高く、とくに「A. るのバス」「B. 急坂下まで通る小型車両」についてはいずれも 75%に達する。  
 ・「C. タクシー代の補助」については「別途料金がかかるから」が 60%で最も高く、次いで「自家用車で十分だから」40%となっている。

